

研究タイトル：

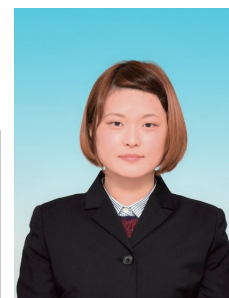
ナイロン製人工筋肉に関する研究

氏名：久保 杏奈／KUBO Anna E-mail：kubo@fukui-nct.ac.jp
職名：技術職員 学位：学士(工学)

所属学会・協会：日本人間工学会, 日本工学教育協会

キーワード：ナイロン人工筋肉, アクチュエータ, 炭素繊維

技術相談
提供可能技術：・教育研究支援センター公開講座「ロボットを動かすプログラミング体験」
・電気電子工学科公開講座・出前授業「電気のでパンを創ろう」「手作りスピーカー」



研究内容：

【ナイロン製人工筋肉について】

ナイロン人工筋肉は、釣り糸や縫い糸に使用するナイロン糸を捻ってコイル状に形成したものである。本来ナイロンは、加熱すると収縮する性質があり、コイル状に形成することで全体の収縮率をより大きくすることができる。そのため、図1のように釣り糸や縫い糸として使用されるナイロン糸をコイル状にし、荷重によって伸長した状態のものに熱を加えると、元の長さまで収縮する。加熱による収縮動作と放熱による伸長動作を繰り返し行うことで、人工筋肉としての動作を再現している。

ナイロン製人工筋肉の加熱には、炭素繊維を通電させた際に起こる発熱現象を利用している。また、ナイロン製人工筋肉の実用化に向けて、Arduino を用いて伸縮動作の回数を調査する簡易的な装置を製作し、作製したサンプルの耐久性試験を行っている。ナイロン糸の直径の違いによって伸縮回数が異なることが明らかとなったが、伸縮回数をより実用的なものにしていくことが今後の課題となっている。



図1 自作したナイロン製人工筋肉

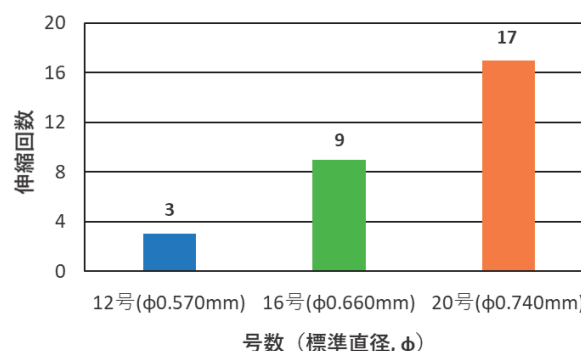


図2 ナイロン糸の直径の違いにおける伸縮回数の違い